

Q&A

一般質問

ひがしはら あきら
東原 章 議員
 市民グループ未来の会



SakaBizの進捗状況は

Q センター長を含むスタッフの選定やセンターの施設整備の進捗状況はどうなっているのか。
 また、坂出商工会議所との業務面でのすみ分けはできているのか。

A 相談体制としては、事業者の相談に対応するセンター長及びそれを補佐する事務スタッフを予定しています。センター長は三次にわたる選考を経て1名を選考し、ほかの先行Biz等で研修を受講しています。

東館の整備は、施設設計や内装工事等、整備事業の大半を令和2年11月末日に完了し、通信環境の整備や備品配置等を行っています。
 (市長)

A 商工会議所は、融資や補助金等の手続に関する知識やノウハウ、またほかの支援機関とのネットワークも豊富に有しています。Bizはこれらの支援機関と連携することで、事業者がアイデアを実現させ、挑戦をより多くの成果につなげるような支援をしていきたいと考えています。
 (建設経済部長)

利用者の望む公共交通施策を

Q 路線バスを使って王越から市立病院まで来るには、デマンド型乗合タクシーより高額な料金が必要となるが割引などの料金体制は。

A 割引制度としては、路線バスは12歳未満の子供は半額、障がい者及び65歳以上の運転免許証自返納者は、証明書の提示で半額となります。デマンド型乗合タクシーは割引制度はありませんが、小学生未満は無料です。
 (建設経済部参事)

Q デマンド型乗合タクシーは、利用者や地域からもっと停留所を増やしてほしい等の要望が多くあると聞いている。他県では、ドア・ツードアを取り入れている自治体もあるが、本市でもドア・ツードアを取り入れるなどの考えは。

A 電話をかけて予約をして来てもらうタクシーとのすみ分けもあるのですが、デマンド型乗合タクシーでのドア・ツードアというのは、制度的に難しいと考えています。
 (建設経済部参事)

質問の項目

- ・ 複合施設について

さんがわ よしえ
寒川 佳枝 議員
 公明党議員会



弱視の早期発見に向けた取組を

Q 日本小児眼科学会は、3歳児健診時に視力検査に加えて、フォトスクリーナー等を用いた屈折検査の実施を推奨している。3歳児健診の視力検査においてフォトスクリーナーを導入する考えはあるか。

A 当該検査機器は、現行の視力検査だけではわからない屈折異常のスクリーニングができるため、日本小児眼科学会などが、問診や視力検査に加えて併用が望ましいと提言しています。

本市においても、令和2年9月に、3歳児健診に従事する保健師や看護師を対象に、眼科専門医を講師として、3歳児健診時における視力検査の勉強会を実施するなど、当該検査機器についても研究を進めているところです。検査結果が数値となつて用紙に印刷されるため、精密検査の受診率が向上し、異常の早期発見・早期治療につながると期待されています。100万円を超え、高価な機器ではありますが、検討を進めていきたいと考えています。
 (市長)

公共施設等のトイレの手洗い用水栓の自動水栓化の状況は

Q トイレの手洗い用の水栓が自動水栓であると、感染症予防の観点からも安心である。市内の主な公共施設や学校、就学前施設等のトイレの手洗い場で、自動水栓になっているところはあるか。

A 本庁舎本館・合同庁舎及び府中湖力ヌー競技場トレーニングセンターが、自動水栓となっています。今年度、大橋記念図書館や市民ふれあい会館などの計12施設で、自動水栓に切り替える予定です。
 (総務部長)

A 小・中学校は、全ての学校では感知式の自動水栓は整備できていません。
 学校によって環境が異なることから、自動水栓化に向けての工法・工期・費用等について調査・研究していきたいと考えています。
 (教育部長)

A 幼稚園・保育所・認定こども園では、公立・私立ともに自動水栓を設置している施設はありません。就学前施設については、手洗い指導とともに、水の大切さを教える場でもあり、様々な種類の水栓に触れ、自分たちで水を出したり止めたりする体験を積むことも大切と考えています。
 (健康福祉部長)